

Vestiges of the Light

Platinum Prints from the Collection
光の名残り プラチナ・プリント収蔵作品展



エドワード・S・カーティス
〈ボベ・トンモ(朝の花)、
サン・イルド・フォンソ族〉1904年頃
Edward S. Curtis
Pobe Tonmo, San Ildefonso Pueblo,
c.1904

カール・ストラス
〈ロウワー・ブロードウェイ、
ニューヨーク〉1912年
Karl Struss
Lower Broadway, New York, 1912

アルフレッド・スティーグリッツ
〈マリー・ラップの肖像〉1914年
Alfred Stieglitz
Portrait of Marie Rapp, 1914

エドワード・ウェ斯顿
〈ニール〉1925年
Edward Weston
Neil, 1925
ハラジウム・プリント

現存する最古の写真は、フランスのニセフォール・ニエブスが、1827年の夏に8時間をかけて露光し、画像の定着に成功したものです。その後、さまざまな写真技法が生まれましたが、基本的には、レンズが光を集め、フィルムを感光させ、印画紙を露光・現像するという行程が長く行われてきました。現代においては、フィルムや印画紙の現像を行う機会は少なくなり、メディア環境の発展とともに、写真表現は今後も多様化して行くでしょう。しかし、写真の源が、光であり、写真家の持つ眼差しであることは変わりません。むしろ、写真は、現代の高速社会にあって、人間にとって本質的に重要な「時間」の持つ意味についても、考える機会をもたらしてくれるのではないかでしょうか。

当館では、三つの基本理念の一つとして、プラチナ・プリント作品の収集・展示を行ってまいりました。プラチナ・プリントは、1911年に発行されたアメリカの写真雑誌において「すべての写真のなかで、プラチナ・プリントほど美しく、永遠に保存性が高く、洗練された目を満足させるものはない」と記されたほど、突出した存在感を持つ技法でした。本展では、プラチナ・プリント誕生期の1878年イギリスの写真から、近・現代の作品まで約130点を展示いたします。

遡れば、光とは、誕生時の異なる光がさまざまに反射して宇宙から漂ってくるもの。写真は、地球に辿り着いた光の「名残り」と、写真家が選び取った時の交差を画像に定着させる表現芸術であるとすれば、写真を撮る・見ることの自由さはまさに無限大です。そして、写真に記録された「あの時」と、写真が表現する「これから」をどのように感じ取るのかは、写真を見る愉しさでもあります。

K・MoPAは、今年で開館15年を迎えました。国内外の約8,000点のコレクションより選りすぐった、プラチナ・プリント作品の魅力をどうぞお楽しみください。

→プラチナ・プリントは、鉄塩の感光性を利用し、塩化白金と鉄塩の感光液を水彩画用紙に塗布した印画紙に、ネガを密着させて、紫外線で露光します。その画像は、階調の幅が広く、グレーの調子がほとんど無限に表現できます。漆黒やハイライト部分の微妙なトーンが、ベルベットのような質感と、優美な色調と言われる理由です。そして、白金の科学的安定度がきわめて高いため、現在写真を焼き付ける技法の中でこれ以上耐久性に優れた技法はないと言われています。



ジェリー・N.ユルズマン
〈無題〉1991年
Jerry N. Uelsmann
Untitled, 1991
© Jerry N. Uelsmann

井津建郎
〈アンコール #158、タ・ソム〉1994年
Kenro Izu
Angkor #158, Ta Som, 1994
© Kenro Izu

ルイス・ゴンサレス・パルマ
〈セルフ・ポートレイト〉1993年
Luis González Palma
Autoretrato, 1993
© Luis González Palma

利用のご案内

- 休館日：毎週火曜日(祝日の場合は開館)、年末年始(12月27日～1月7日)
- 開館時間：10:00～18:00(12月1日から会期終了までは17:00閉館、入館は閉館30分前まで)
- 入館料：友の会・会員無料 一般800円(600円) 学生600円(400円) 中・高生400円(200円)
小学生以下無料 () 内は20名様以上の団体料金 家族割引1,200円(2名以上～6名様まで)
- 友の会会員募集中 ●館内にはミュージアム・ショップもございます。

交通のご案内

- 車にて...中央自動車道須玉I.C.または長坂I.C.より約20分
- JR...中央本線小瀬沢駅にて小海線乗り換え、清里駅下車、車で約10分

ケイ・モバ

K★MoPA
清里フォトアートミュージアム
Kiyosato Museum of Photographic Arts

〒407-0301
山梨県北杜市高根町清里3545
Tel.0551-48-5599/Fax.0551-48-5445
E-mail: info@kmopa.com
www.kmopa.com

割引券

本チラシをご持参の方は、入館料が200円引きとなります。
(チラシ一枚で5名様まで有効)



八ヶ岳ART FESTIVAL 2010 参加企画

 **八ヶ岳ミュージアム協議会**
<http://yatsugatake-museum.jp>

自然写真家・西村 豊氏と「紅葉の森を散歩」

美術館内の森を西村氏と自然観察をしながら散策します。
八ヶ岳に棲む動物のお話を聞いたり、自然写真のコツなどを伺います。
●日時：11月6日(土) 午後1時～3時
入館料のみ/友の会・会員は無料 予約不要

K・MoPAで星をみる会

★Starry Night at K・MoPA★

MEADE天体望遠鏡(口径40cm)のある当館天文室で行われる観望会。
宇宙の不思議を初めての方にもわかりやすくお話しいただきます。
●日時：11月6日(土)午後5時30分～7時30分
●講師：梅本智文(国立天文台 水沢VLBI観測所 助教)
＊雨天の場合はレクチャー&トークのみ
●入場料：一般1,000円(入館料含む)/友の会・会員は無料
●定員：15名程度 要予約
東京国際科学フェスティバル(TISF)参加企画

八ヶ岳ART FESTIVAL 2010

八ヶ岳南麓に点在するミュージアムが“エコロジー”をテーマに、それぞれ個性的なイベントを行なう一週間のフェスティバル。
秋の八ヶ岳南麓のミュージアムを巡って“センス・オブ・ワンダー”を育んでみませんか？詳細は、八ヶ岳ミュージアム協議会加盟館に設置のチラシか、八ヶ岳ミュージアム協議会
<http://yatsugatake-museum.jp>をご覧ください。

● 2010年10月30日(土)～11月8日(月) 11月8日は「八ヶ岳の日」

ピノホールカメラ・ワークショップ

写真の原点ピノホールカメラ。
お手持ちの箱でカメラを作って撮影、モノクロ現像してみませんか。

●日時：11月14日(日)午前10時～午後5時
●講師：田村泰男(学芸員)
●受講料：一般1,000円(入館料含む)/友の会・会員は500円
●定員：10名 要予約

※小学生は親子での参加をお願いします。
参加申込みは、11月7日までに住所、氏名、参加人数をお知らせください。

www.kmopa.com

